

## ■令和7年度第1回会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会 開催記録

日 時:令和7年6月 19 日(木)18時30分～20時 50 分

場 所:本郷生涯学習センター 研修室

出席者:17 名/18 名

事務局:4名 委託事業者:2 名

### 1. 開会

### 2. 副町長挨拶

皆様には、日頃より町政全般にわたりまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。本協議会は、本郷地域の賑わいづくりを目的とし、様々な視点からご意見をいただき、地域活性化につなげていこうとするものです。具体的な内容につきましては、今後の協議事項の中や、事業概要・趣旨説明の中でもご説明いたしますので、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。本日は、活発なご議論をお願い申し上げますとともに、本郷地域の賑わいづくりに生かしてまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

### 3. 委員紹介(自己紹介)

各委員自己紹介を行った。

### 4. 委員長及び副委員長の選出

委員長は H 委員、副委員長は C 委員となった。

### 5. 協議

#### (1)事業概要・趣旨説明

業務エリアの範囲や文化観光施設の今後の方向性、また官民連携による取り組みについて、資料を用いて説明を行った。

#### (2)キックオフ

「本郷地域のまちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって」等について資料を用いて説明を行った。

#### (3)意見交換

##### ○委員長

各委員から、これまでの説明に対して、あるいはご自身が感じている町への課題そういったものを名簿順に伺いたい。

##### ○A 委員

人口減少は会津美里町も例外ではない。本郷地域まちなか賑わい創出協議会では会津若

松市に近い本郷地域の特性を意識して具体的な計画を考えるよい。その上で高田地域や新鶴地域との連携を考えるとよい。

○委員長

A 委員の考えるまちなか賑わいとはどのようなイメージか。

○A 委員

まちは「人」が住んでいるから成立する。そこに住む人が楽しそうに生活する。あるいは楽しそうに仕事をしている。そういった姿をみせることが重要と考える。そういうのを見てお客さん入ってくる。少し話が逸れるが、地域の魅力度ランキングで北海道が上位であるのは美味しいものがあるからというイメージがあるが、それを作っているのはそこに住む人たちである。そういったイメージが賑わいを高めると思う。

○委員長

B 委員はどう考えているか。

○B 委員

私は窯元をずっとやってきた。観光業の一部が含まれる仕事と認識している。お店には焼物体験などを目的に観光で訪れるお客さんがいる。大内宿にはインバウンドで外国のお客さんがきてくれているが、本郷に来ている感覚はない。もっとインバウンドに力を入れたい。

説明資料についての意見だが、焼き物の産地の紹介があり、私も訪れたことがあるが、常滑焼の壺で作られた壁は印象的で、「焼き物の町」というインパクトのある場所だと感じた。多治見ではタイルの産地ということもあり、商店街の看板をタイルで作っており、何か統一性を持って取り組むというのは面白いと思った。

観光で訪れた人が焼物の町として印象に残るような何かができれば賑わいにつながるのではないかと思った。

また、中学校でせと市で販売するための器作りをしているが、そういった機会を活用し街並み整備に活かせればよいと思う。

○委員長

インバウンドはせせらぎ公園にも来ていない印象である。なぜインバウンドで訪問する方は歴史を見に来る方が多いと思うので、なぜ会津本郷焼が生まれたのか、など局面的に見せると興味を持たれるかもしれない。

D 委員はどう考えているか。

○D 委員

インバウンドは交通の便の悪さが原因と考えている。

○委員長

D 委員はイベントの企画もしているが人集めなど苦労されたことはあるか。

○D 委員

私は毎年秋に「街コン」という出会いイベントを企画している。女性がなかなか集まらず、

毎年同じ方が参加している印象である。イベントの改善を検討している。本町の男性もあまり参加してくれず、参加しても全然しゃべらないといったことが結構あり、苦労している。

○委員長

E 委員はどう考えているか。

○E 委員

商工会は集客に向けた賑わいイベント事業を行っている。イベントをする上で駐車場の確保が問題となっている。本郷地区のコンセプトは歩いて回れるまちということで駐車場の問題が生じづらいと感じている。インバウンドについては本日たまたま本郷インフォメーションセンターに立ち寄ったら、向羽黒山城跡にベルギーの方が来ていたようで、まったく来ていないわけではないという印象。

○委員長

E 委員は高田地域の賑わい創出にも携わっていたとお聞きしたが、高田地域と本郷地域の違いは何か。

○E 委員

高田地域は伊佐須美神社が観光の核として位置づけている一方で、生活の基盤である役場や商店街、銀行が分散しておりつなぎ合わせるのが難しい。

本郷地域は歩いて行ける範囲に集約されていることが強みだと感じる。

○委員長

F 委員はどう考えているか。

○F 委員

本郷地域は焼物を中心に計画を作っていた方がいいと思う。本郷焼事業組合として魅力を伝えていくことは今後もやっていきたい。私は本郷焼事業組合の業務とは別で私は会社を経営しており、焼物以外の事業をこの会社で進めたいと思っている。

本郷地域は歩いて回れるエリアであると思っているが、窯元巡りだけではお客さんが飽きてしまう懸念がある。そのため、途中で立ち寄れる別の店舗があると、より楽しめるのではないかと感じている。そうした視点から、何か新しい取り組みができないかと考えている。

インバウンドについては、本郷地域に少しは来ている印象をもっているが、大内宿や会津若松市と比べれば、まだまだだと思っている。外国人向けの情報発信は課題であると感じている。

また、インバウンド対策として窯元で焼物を買ってそのレシートを焼物組合に持参すると消費税が免税となる免税手続きカウンターを設置する構想もある。

○委員長

F 委員はトゥクトゥクを導入したと聞いているが、簡単に説明いただけるか。

○F 委員

本郷地域は道が狭いため、車での移動が怖いといったお客さんがけっこういらっしゃる。そこでタイなどで走っている 3 輪の乗り物であるトゥクトゥクや電動アシスト自転車を導入した。これに乗って走るだけでも楽しい。有料化して正式なサービスとして提供する予定である。

○委員長

I 委員はどう考えているか。

○I 委員

私は集落支援員だが、今回は一般町民として意見したい。本郷地域は食事処が極端に少ない。以前は伊藤食堂から出前をとっていたが、今は出前をする店が思い当たらない。観光も大事だが、高齢になってもこの町でずっと住んでいたいと思える魅力あるまちづくりができたらいいなと思う。

また、私はバス会社の旅行会社に勤めていた経験があり、本郷地域も焼物体験などツアーに組み込まれていた。ツアーでは、まとまった人数が食事をするため、「いわたて」が食事処として組み込まれていた。食事できる場所がなければお客さんは別な場所に観光に行く。

地元の野菜やお米を活かした、美味しいものを発信出来たら良いと思う。具体的に何をすべきかはまだわからない。

○委員長

J 委員はどう考えているか。

○J 委員

私も I 委員と同様に食事について意見したい。美味しいものを食べに行くことは、それ自体が目的地になる要素だと思う。私は 4 月から本郷のまちなかを歩く機会が増え、道幅の狭さを実感しつつ、歩いて回れるまちだと感じている。

私は南イタリアの街並みが好きなのだが、同じく歩いて回れるまちという観点から、陶器製のポストとまでいかななくても、まちなかの至るところにおしゃれなプレートなどが設置されていれば、散策がより楽しくなり、歩きたくなるまちになるのではないかと思う。

○委員長

信用金庫として何か町に個別な支援があれば、もしくは手を挙げることで何か支援メニューがあればご紹介いただきたい。

○J 委員

観光客を誘致するひとつとして全国の会津信用金庫で年金受給者に対して旅行の PR をしている。PR のための DVD を作成しているため、本郷地域を入れることは可能。

○委員長

K 委員はどう考えているか。

○K 委員

私は 15、16 年前に本郷地域に嫁いできた。私は建設や設計に興味があり、当時から街並みが好きであった。

窯元巡りの途中にカフェ等があったらいいなとずっと申し上げており、「COBACO」の立上げに携わった。「COBACO」を第 1 歩として、少しずつでもまち歩きが楽しくなるお店が増えることを願う。

瀬戸町地区のまちづくり協定があったときは素材や色の統一に補助金が出ていたが、補助金は廃止になった。

難しいかもしれないが、裏路地を板塀で揃えとか、色を揃えとか、そういう街並みの景観を整える何かをしたい。

宗像さんの登窯の小道付近に広場に「じゃらんかけ」が落ちており、ゴミや草、碇子が紛れている。整備できたらよいと思っている。

また、向羽黒山城跡整備資料室の解体が予定されているとのことだが、瀬戸町地区の白鳳会という秋祭りの会でお祭りの山車（だし）を制作するのに、向羽黒山城跡整備資料室の入口や屋根を活用させてもらっている。解体後にトイレだけでも整備してもらえると嬉しい。

○委員長

委員は高田のまちみせマルシェを開催されており、私も昨年度手伝いで参加したが 6 月と 10 月を比べると 10 月は家族連れが多かった印象がある。

6 月と 10 月で変わったことはあるか。

○K 委員

10 月は仮装ハロウィーン企画を行い仮装した子ども達は商店でお菓子がもらえる企画を実施した。また、コスプレイベントをあわせて実施し、コスプレイヤーが伊佐須美神社でコスプレをし、子どもたちはまちなかでコスプレをしていた。自発的にやってくれた子がたくさんいて、想定以上であった。

○委員長

L 委員はどう考えているか。

○L 委員

私は生活の面であまり困っていない。静かで雰囲気も良くいいところだと思っている。本郷地域は焼物の町という認識があり、窯元さんを支援する姿勢はいいと思う。私は環境整備をやることはいいが町の品格を保ってきたのは窯元さんがいたからだと思うので、窯元さんをさらに支援することが大事だと思う。クリエイターを大事にする町という認知が広まればそれで成功だと思う。そうすれば自然と人が集まってくると思う。

飲食店について他の委員より意見があったが「いわたて」が閉店した理由を教えてください。

○委員長

赤字が原因。規模が大きかったこと、観光に依存しすぎたこと、東日本大震災があったこと等も要因と感じている。あの規模の飲食店は本郷地域に合わなかったと反省している。

○L 委員

そういった経験を踏まえて本郷のプレイヤーを応援いただければもっと良くなると思う。

○委員長

品格というキーワードがあったが、本郷地域の品格にいつ頃気づいたのか。

○L 委員

大学の時でしょうか。地元を離れたことがきっかけで地元の良さが認識した。

○委員長

M 委員はどう考えているか。

○M 委員

私は本郷町時代のマラソン大会の開催に携わっていた。マラソン大会を復活させて賑わいをつくってはどうかと思う。当時は走友会のメンバーが中心となって運営していたが、イベントの運営は苦勞した記憶がある。

せと市について瀬戸町通りから旧本郷第一小学校跡地に変更して、お客さんの数はどうなったのかお聞きしたい。

○F 委員

コロナ前の比較になり、お客さんの数は瀬戸町通りの方が多かった。しかしながら、瀬戸町通りで行う場合は警備費が増加傾向であり、増加した経費を出席者が負担することになり、そのタイミングで旧本郷第一小学校跡地に変更した経緯もある。

○委員長

物理的な難しさはあるかもしれない。私は本郷地域の友人から瀬戸町通りの暗い道路で始まるせと市を聞いており、何か雰囲気が残れば誇りになると感じる。

N 委員はどう考えているか。

○N 委員

違った視点から意見したい。私は5歳の子どもを育てており、子育て世代です。会津美里町は全体を見たときに、子供を遊ばせる場所が少ないイメージがある。それでも、本郷地域は会津若松市に近いアクセスの良さがあり、白鳳山公園など自然を含めて子どもを遊ばせられる場所があり、住みやすい、子育てしやすい地域だと思っている。

そういった部分をさらに伸ばす取り組みや施策を実行すると思う。

○委員長

他の地域で魅力的な施策などあるか。

○N 委員

保護者同士で話になるのが、次の休みどこに遊びに連れていくかという問題がある。子どもを会津若松市の総合運動公園につれていくと遊具にわくわくしており、走り回っている。同じ保育園の友達に会うこともあり、会津美里町で魅力的な場所があれば集まってくれる

のかなと思う。

○委員長

私も孫と遊ぶときに室内で遊ぶ場所が少ないと感じる。西郷村には公民館や昔の保育園を使って室内で遊ばせられる場所があり、費用の面で大変かもしれないが、ひとつの賑わいの方法であると感じる。

○委員はどう考えているか。

○○委員

せと市への意見として瀬戸町通りで行っていた印象が良い印象として残っており、今は旧本郷第一小学校跡地で行っているが、エリアが広いせいか、閑散としており、寂しい印象がある。三島町の工人まつりのように出店者が多くなり、全国の瀬戸物が集まる市になることを望む。

また、夏祭りを改善できないかと思っている。地元を離れた子どもたちが夏祭りのために戻ってくる。そんなお祭りができたらいいなと思っており、盛岡のさんさ踊りのような華やかさ・かっこよさを本郷甚句の振り付けに盛り込めれば若い人にも喜んでもらえて、賑わいにつながると感じる。

○委員長

P委員はどう考えているか。

○P委員

本郷地域は焼き物と切り離せない地域だと思っている。大内宿は上から眺めて古い町並みが集約していることに魅力があると思っている。

一方で瀬戸町通りは瀬戸屋さんがあまりなく、瀬戸物の町だとわからない。窯元さんが点在しているのはいいので、瀬戸町通りに瀬戸の町だとわかる何かがあるといいと思う。過去には商工会青年部で鬼瓦の置物を作ったことがある。また、お茶会が始まった当初、前夜祭で焼物の灯籠を作った記憶もある。灯籠のライトアップなどはインスタ映えしそうで、東北最古の焼き物というキーワードとともに、情報が広がるのではないかと思った。

本郷の小道についてはいい道がたくさんあり、裏通りに軽食が取れる場所ができるのはいいと思う。

東京マラソンが道を封鎖して走っているのが魅力だと思っており、本郷地域のマラソン大会の復活は私も望んでいる。

○委員長

人物を入れて写真を撮るスポットで思いつく場所があるか。

○P委員

まちなかでいえば水車公園がいい場所だと思う。白鳳山公園に行けば、御茶屋場等いいスポットだと思う。

○委員長

Q委員はどう考えているか。

○Q 委員

私はせと市でのスポット的な賑わいは意味がないと思っている。本郷地域は人口減少により学校が統合された。昔はクラスが3クラス、4クラスあり、自然と賑わっていた。今は1クラスしかない状況である。若い人を会津美里町に、本郷地域に呼び込む施策が必要である。呼び込むためには魅力を作ることが必要だと思うが、それが何なのかと聞かれると難しい。

例えば若い人にメリットの移住や定住を促進するために、予算の都合上難しいかもしれないが、何年間か税金を免除するなどやっていいと思う。

○委員長

R 委員はどう考えているか。

○R 委員

私は賑わいは外から来る人で作られてくると思っている。本郷地域は焼物を活用して外から人を呼び込むことが重要だと思う。例えばコロナ前にあったロードバイクのレースであるヒルクライムを復活してもらい、人を呼び込み瀬戸の町をPRすることなど。

また、毎月第1日曜日にイベントをやっているなど継続した事業ができれば賑わいにつながると思う。予算的な制限がある場合は県のサポート事業などで補助金の活用もすべきと思う。事業を行う考える上で、お金を見つけてくるという視点も大事であると思う。

瀬戸町通りの裏通りの話であるが、水路を清掃し、綺麗になったらいいなと思う。

最後に、前回の山城祭りのときに、のぼり旗を本郷大橋に設置していたが、橋を越えて会津若松市内にも設置してもいいのではないかなと思う。

○委員長

ここでアンケートの実施についてお諮りする。アンケートの実施について事務局より説明を求める。

○事務局

まず、あやめ祭りを目的に来町された町民及び町民以外の方を対象に本郷地域及び焼物に関する認知度を図るアンケート調査を実施したいと考えている。

また、せと市では本郷地域を知っている方を対象に皆さんの意見を盛り込んだアンケート調査を実施したいと考えている。せと市で行うアンケートについては委員長及び副委員長と協議し決定するか、事前に委員皆さんにお知らせする方法により実施したいと考えている。

なお、あやめ祭りや、せと市以外でも広く本郷地域の意見聴取する機会を検討しており、それは2回目の協議会時にお諮りできればと考えている。

○委員長

最後に副委員長はどう考えているか。

○副委員長

私は本郷地域が、観光客を会津若松市や大内宿から引っ張ってくるのではなく、むしろ水

源となるような地域になればいいと思っている。そのためには焼物以外のコンテンツを用意しなければいいと思っている。

○委員長

それでは、あやめ祭りの時、また、せと市の時にアンケート調査を実施しますが異議はありますか。

○各委員

<異議なし>

○委員長

異議がありませんでしたので実施することで準備を進めたいと思います。アンケート内容ですが、あやめ祭りのアンケート案に意見があれば発言ください。

○L委員

「焼き物を体験したことがあるか。」について追加してもらいたい。また、美里町への再訪を考えていない方の理由に「宿泊施設がないから」も追加してもらいたい。

○委員長

事務局は今の意見について対応可能か。

○事務局

対応いたします。

#### (4)総括

○委員長

その他意見がないようなので、総括をお願いします。

○A委員

多様な意見が出たということで非常に有意義な協議会であった。本郷地域と高田地域では背景が異なることを再認識した。

にぎわい創出には大きくわけて5つの意見があった。1つ目は、まちなかの価値や魅力について、本郷地域の核は本郷焼や街並みであるということ。2つ目は外部からの誘客の意見として会津若松市や大内宿からの観光客の流れを呼び込むということ。3つ目は食の重要性として食事処が不足していること、魅力的な食の提供が課題であるということ。4つ目は持続可能な仕組みづくりとして担い手や財源の課題があるということ。5つ目は両輪の政策として、イベントだけでなく、移住・定住、子育て等、多角的な施策の課題があるということ。

具体的にどうするかはこれからの協議会やアンケート調査から見えてくるものだと思うため、次回以降も忌憚のない意見をお願いしたい。

#### 6. 今後の予定

事務局より今後の予定について説明した。

## 7. 閉会

副委員長が閉会のあいさつをした。

以上